

社協だより 福祉とさちょう

NO. 103号
2019年12月発行



docomo ショップ高知インター店様のご協力で、老人クラブのスマホ教室を開催しています。会員の皆さんは「いろんなアプリも使いこなせるようになりたいです」と熱心に学んでいます。今後は、テレビ電話などで互いに連絡をしあって、見守り活動につなげていきます。

土佐町社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内

82-1067 82-1069 (FAX)

e-mail tosasameura@shirt.ocn.ne.jp



社協 facebook はこちらから→

第40回土佐町社会福祉大会

令和元年10月26日(土) 176人の参加を得て盛大に開催されました!!

大会宣言



大会宣言を読み上げる
筒井京野 社協理事

町民が「ここにおいて良かった」と言える町になるために、行政と住民が相互に連携を図るとともに、土佐町地域福祉計画並びに第5次地域福祉活動計画を推進し、『ともに ささえ合う まちづくり』それが私たちの願いです。

福祉のまちづくりは、これまで先人が培ってきた地域の絆を改めて見直し、地域福祉活動を次世代に繋いでいくことが、大変重要となってまいりました。

本日第40回土佐町社会福祉大会に参加した私たちは、これまでの実践活動と経験をもとに保健・医療・福祉との連携を一層強めるとともに、すべての人々の基本的人権が尊重される、うるおいと活力に満ちた福祉のまちづくりを推進することをここに宣言します。

表彰状



☆ご長寿☆

トキワ苑 右城冬子様
トキワ苑 澤田富遊美様

☆民生委員児童委員功績☆

西石原 伊藤 梶男様
峯石原 谷川 禮子様
東石原 近藤 富子様
南 泉 川田 悦子様
中 島 西村 守子様
中 島 出島 裕子様

☆ボランティア活動☆

個人表彰 石川 義孝様



感謝状



☆多額寄附者☆

下瀬戸	岡林	増榮	様
相川	川井	隆夫	様
上津川	川村	榮己	様
下地藏寺	田岡	和昭	様
高須	澤田	隆彦	様
中地藏寺	西村	幸成	様
高須	式地	浩一郎	様
南境	川田	満	様
中島	筒井	君子	様
峯石原	仁井田	裕子	様
高須	式地	多嘉子	様
中島	岡林	房基	様

(順不同)



発表・講演 ～アンケートの声～

～知ってほしい！土佐町の自慢！（土佐町小学校4年生）～

☆まず何より元気があったよかった。

土佐町の産業などについて良く調べていて、
知らなかったことも知ることができた。ありがとう！

☆大きな声でとても聴きやすかったです。

地元の事をよく調べていると思いました。

知らないことも発表で知りました。

手話も大変良かったです。これからも地元のことを
しっかり見ていってください。

☆孫が土佐町にいないので、子どもたちの一生懸命な姿を見て感動します。

学校には行く機会はないので、めったに見られません。

国語や算数も大事ですが、「暮らし」について勉強し子どもたちの視線
で感ずることができて本当に素晴らしいと思います。

先生方、ご苦労様です。ありがとう。



～職場体験学習発表（土佐町中学校2年生）～

☆大切な勉強だと思います。色々な仕事を知って、

自分の将来を見つけることができると思います。

将来この授業を思い出してほしいです。

☆地域の方々の協力があってこそ。

「子どもたちは地域の宝です。」という思いで受け入れ
てくださっているのだと思います。

本当に土佐町の教育は素晴らしい。

☆インターネットで世の中がどんどん変化していますが、原点、自分が育ったところ、安心して帰ることが
できるところがあることが一番大切だと思います。どんな仕事に就いても土佐町に安心して帰ってきて
ほしい。



～子どもげんき村の活動を通じて（運営協議会代表 川村治子氏）～

☆一人も取り残さない社会をつくるためには大切なことだと思う。

☆お年寄りへの取り組みはよく聞きますが、子ども達への取り組みは
あまり聞かないので、とてもいいと思います。

みんなが協力したら色々なことができるのですね。素晴らしい。

☆子ども食堂のことが良く分かりました。協力したいと思いました。



～「おぼえがき」（本編・医療編）後へ伝えたい事

（京都大学東南アジア地域研究研究所 フィールド医学連携准教授 和田泰三氏）～

☆専門職による寸劇や、この地域での調査や取り組みの発表ですので、

自分の地域のこととして、また、身近な問題として、この地域の方々にも伝わると
思います。

☆話を聞いて他人事とは思えず、今からどうするか話し合いをしようと思った。

☆すでに書いて2人の子に渡しています。

☆難しい問題だと思います。今73歳です。元気です。

このおぼえがきを書いたらいいか迷っています。

一緒に暮らしている子供には人工的方法は希望しないと伝えるかどうか
まだわかりません。



～創作ダンス 愛燦燦（早明浦ダンスクラブ SDC）～

☆毎年楽しみにしています。

大変華やかで素敵なダンスでした。

元気をいただきました。

☆いいと思います。元気でみんな頑張っていると思う。

自分のやりたいことをすることが元気のもとだと思います。

☆いつ見ても元気が出ます！



あったかふれあいセンター

あったかフェスティバル！！

令和2年2月29日(土)

11:00～14:00

場所:あじさいホール

あったかフェスティバルに向けて、地域や集いで準備を行っています。当日には、皆さんが作成した作品や出し物などが盛りだくさん！ぜひ、参加してくださいね～♪



集いの様子

誰でも参加できます！
お気軽にご参加ください♪

森

木曜日になると森地区の皆さんが歩いて集合。朝から元気に体操をしてはじまります。「今週は箱づくりに挑戦しよう」など体操の後には、手芸やボウリングなど盛りだくさんの半日です。こころもからだも元気に、毎週木曜日に集っています。

土佐町保健福祉センター1 階
10:00～11:30



いけっ！
ストライク！



毎週木曜日

ぜひ、お誘いあわせのうえご参加ください！

石原

旧石原保育園
毎月第2金曜日
13:00~15:00



ランプシェードを作ってみよう♪という声が聞かれ、皆で挑戦することに！風船にボンドを付け障子紙を貼るのですが、昔は襖の障子紙を貼り替えたりしていたので、皆さんお手のもの。ハケを使って上手に障子紙を重ねていきます。乾燥させた笠に好きな飾りを付けたら完成！

☆フェスティバルにも飾りたいと思いますので、お楽しみに☆



南川

南川会館
毎月第4木曜日
13:00~15:00

フェスティバルに向けて看板作り♪色画用紙を好きな形に手で破りながら、ダンボールで作った文字に貼っていきます。隣同士、世間話をしながらも「あれ？似たような色が集まったき、おかしくない？」「近くで見ると変なけど、少し離れて見ると良い感じ！」などとレイアウトを気にしながら仕上げていました。フェスティバルでは、明るい看板を目印に南川ブースへ遊びに来てくださいね♪



今はいろんな色の画用紙があるがや

あの人と知り合い？
知らなかった！

ボランティアセンター



参加者
大募集

～介助ボランティア養成講座～

車いす介助教室

外出する時やちょっとしたお手伝い、もしもの災害時にも役立つ介助の仕方や、グッズを紹介します。また、介助時の事故を減らすためのポイントも教えて頂きます。

地域のつどいででの介助や、家族やご自身の暮らしにきっと役立つ講座となっています。ぜひご参加ください。

【日時】 令和2年1月25日(土)10:00～11:30

【場所】 トキワ苑(田井1377-29)

【講師】 トキワ苑 介護支援専門員 井手 正氏

【持ち物】 筆記用具・飲み物

【問合せ・申込先】 土佐町社協 ☎0887-82-1067



地域で！グループで！ 体操始めませんか？

地域やグループで体操や脳トレなどの介護予防を始めませんか？

土佐町ではできるだけ住み慣れた地域で自分らしい生活を維持するために「楽しみながら」をモットーに介護予防に取り組んでいます。自分達で継続した開催ができるようサポートします。

【内容】 てくてく体操など

【開催頻度】 月1回程度

【開催場所】 地域の集会所
又は自宅など

【支援内容】 体操グッズ配布
(CD又はDVD、スタンプ手帳、
はんこ) 開始約6回までは
職員がサポートします。
まずは、ご相談ください。

土佐町介護家族のつどい

みんなで話をして、ちょっとだけ、
肩の荷を下ろしてみませんか

誰かと話をし
て気分転換を
したいがよね

他の方の体験を
聞いて勇気づけ
られました



【日時】 令和2年1月23日(木)

13:00～15:00

【場所】 土佐町保健福祉センター

土佐町では、認知症を理解するための講座などを行っています。地域やグループ、職場等を対象にした講座を要望に応じて実施します。まずはお気軽にご相談下さい。

地域の活動紹介

中島地区カレーの日



今年度、地域の民生委員さんを中心に婦人会・日赤奉仕団にかかわる方々により、「カレーの日」として中島地区にて福祉活動が実践されました。

中島地区では、町営住宅の建設、地域住民の入れ替わりが多くなってきた昨今、顔を合わしたり声をかけたりする機会が少なくなり災害時にも助け合える地域づくりをしたいという思いから、今年度初めての試みで、みんなでご飯を食べる機会として「カレーの日」を開催しました。



開催場所は、各班内の広場で行いました

中島地区内の各班で行われたカレーの日には、ご近所の方が誘い合って、子供からお年寄りまでたくさんの方が食べに来られていました。受付では、防災チラシを配布し、一人ひとりに防災の呼び掛けをされていました。

8月には子ども会の催しにも合わせて実施したそうです。

「発端は、地域福祉活動計画の懇談会でした。案は出したものの、その後どうしたらできるだろうとモヤモヤしていました。そんな時、日赤奉仕団の研修会でグループワークで話し合ったときに、具体的にできる方法が見つかりました」と、今回の発起人である出島裕子さん。

地域の民生委員さんが中心となり、まずは地区の合意を得ることから始めたそうです。

「一つの場所ですら1回でも、来れる人は限られる。班



活動への協力の輪が広がりつつあります

ごとに実施しようと思いつきました。そこでまずは、地区の総会でみなさんに内容を説明し合意してもらいました。この企画を推してくれた人もいて、早速行動に移しました。近所の方や仲間も賛同してくれて、多くの協力を得ることができました」と出島さん。



おかずや具材には寄附も多くありました



「はじめまして☆」カレーの日が良い顔合わせの機会になりました。

いざ、開催してみると、普段顔をなかなか見れない子育て世代の方の参加があったり、男性の参加も多くあったりと、たくさんの人と話すことができ、発見があったそうです。また、日常で顔を合わす機会の少ない方々同士の交流も多く見られたそうです。

災害時はもちろん、誰もが住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくためには、日ごろからのお付き合い・ご近所同士の支えあいが必要となります。

今回の「カレーの日」のような活動が、土佐町で広がるといいですね。

この取り組みは、日本赤十字土佐町分区より一部活動助成金を受けて実施しました。

内閣官房 まち・ひと・しごと 創生本部より視察

令和元年11月26日（火）内閣参事官中野孝浩氏・つながる地域づくり研究所代表理事一井暁子氏ら7名が地蔵寺のあったかふれあいセンターを視察し、「生涯活躍のまちづくり」について社会福祉協議会と意見交換を行いました。



国では、誰もが一人ひとりの個性と多様性を尊重され、地域コミュニティにおいて、それぞれの希望に応じてそれぞれのもつ能力を発揮し、生きがいを感じながら暮らすことができる、「全世代・全員活躍のまちづくり」を推進しています。

高知県内のあったかふれあいセンターは、31市町村・48拠点が展開されており、生涯活躍のまちづくりに向け、土佐町ではどのように実践されているかを見学し、今後、土佐町のような取り組みを広げていくためには、どのようなしくみが必要かについて熱心に意見交換が行われました。

この日、地蔵寺では南川・瀬戸と地蔵寺のあったかの交流に加え、みつば保育の年長さんらが、遊びにきてくれて、参加者とレクリエーションなどを楽しみました。中野氏らは、保育園との交流がこのようなかたちでできていることに驚き、高い関心を示されていました。

また、土佐町社会福祉協議会が行っている地域支援におけるコーディネーターやコミュニティワークの位置づけに注目し、「社協は、地域福祉をすすめる団体であり、土佐町社協の取り組みから本来のあるべき姿がみられた。地域福祉コーディネーターのように、あらゆる人や資源をつないでいく人材の確保を、どのように進めていけばよいのかが課題であるが、生涯活躍の場をつくっていくには、コミュニティが基盤となっていくことを改めて認識した」と視察の感想をお話してくださいました。



地蔵寺では、保育園児のみなさんも、お年寄りも、ボランティアさんも全員に役割があり、ふれあいを通じて、会場に笑い声が響き、笑顔がこぼれていました。これぞ「生涯活躍の町」ではないかと思える一日でした。

地域支えあい推進員

生活支援コーディネーターに 生活の中での**困りごと**や**心配ごと**を お聞かせください。

ご近所の方で買い物や、
書類の代行など
「ちょっと手助けができるよ」
という方いませんか？

今から買い物に
いくき、ついでに
買うものがあつたら
こうてくるぞね



地域の声

- 少ししか買い物がない時は移動販売には
気の毒な気がする
- サービスや制度の利用の仕方がわからん
- 最近、薬を飲み忘れる
- 行政からの手紙が意味がわからんで
誰か手続きをしてくれんろうか
- 料理をするのがたいそうなってきた
- ペットをよう飼わんなってきた



日本赤十字社 土佐町分区

医)十全会様へ感謝状贈呈



日本赤十字社高知県支部より、医療法人十全会様に、感謝状が贈呈されました。

これは、日赤活動資金寄附額の累積額が表彰にあたるとして、贈呈されたものです。

十全会の皆様、長年ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

民生委員活動の功績を称えて

令和元年度 高知県社会福祉大会において、永年、民生委員活動を通じて地域福祉に貢献した6名の方々に對し、感謝状が贈呈され高知県社会福祉協議会会長より、伊藤楯男氏が代表で感謝状を受け取りました。

伊藤楯男氏は土佐町民生委員児童委員協議会の会長も務め、活動では、認知症になっても安心して暮らせる町づくりにむけて、認知症キャラバンメイトとしても活躍するなど多くの功績を残されました。

伊藤楯男様
西村 守様
近藤富子様
出島裕子様
谷川禮子様
川田悦子様



民生委員・児童委員とは

厚生労働省ホームページより引用

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。

児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行います。また、一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けています。

矢田泰蔵氏 全国老人クラブ大会にて表彰



令和元年11月27日、さいたま市大宮ソニックシティにおいて、全国より約2,400名が参集し、第48回全国老人クラブ大会が開催されました。

この大会で、矢田氏はクラブ活動の推進と育成発展に貢献された功績により表彰を受けられました。これまで、田井なでしこ老人クラブの活動に熱心に取り組み、土佐町老人クラブ連合会会長や高知県老人クラブ連合会評議員等を歴任されました。多大なご尽力により、老人クラブは益々魅力的なクラブになっております。

今後も、益々のご活躍を願っております。



ひよこぐみ写真館



たかはし

高橋

あんず

杏月

ちゃん



平成30年12月17日生まれ

パパ 孝彰さん

ママ 裕子さん

姉妹仲良く
助け合いながら
元気に大きくなってね♪



お姉ちゃん

りっか
立槻ちゃん

あんず

杏月

ちゃん



パパ 優太さん

ママ あかねさん



ほそみ

細見

ねお

根生くん

平成31年2月16日生まれ

お姉ちゃん2人に可愛
がられ、すくすく大き
くなっています。
自然豊かなこの町で、
元気いっぱい育てて
ね♪



お姉ちゃん

めい
芽生ちゃん

ねお

根生くん

お姉ちゃん

かお
果生ちゃん

ご寄附を頂きました

自：R1. 9. 1

至：R1. 11. 30

部 落 名	氏 名	金 額	備 考
	匿名 名 様	米180キロ	
	匿名 名 様	はがき・切手	
	匿名 名 様	米90キロ	
	匿名 名 様	50,000	香典返し
相 川	川 井 里 香 様	100,000	香典返し

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金のおかげで 老人給食の活動ができています



老人給食は、声掛け・見守り活動として、昭和55年8月に開始されました。皆様から寄せられた共同募金の配分金で食材を購入し、多くのボランティアの皆様にご協力いただいて、実施しています。

昨年度は、年間延べ453人のボランティアの皆様により、1,139食が届けられました。お弁当を受け取った方々からは、「本当に美味しいお弁当をありがとう」「一人でつくって食べるのはおっくうになるけれど、手作りのお弁当は本当にうれしい」「届けてくれるボランティアの方からやさしい声をかけていただき、本当に感謝しています」との声が寄せられています。



老人給食の調理の様子(地藏寺調理場)



赤い羽根共同募金は、たくさんの「ありがとう」につながっています
今後ともみなさまのご協力をお願い申し上げます。